

令和8年度事業計画書

1 会員増強と活動資金募集

日本赤十字社は会員をもって組織される法人であり、会員及び協力会員の納入する活動資金によって事業を実施している。

(1) 活動資金の募集

ア 令和8年度目標額

区 分	一般活動資金目標額(円)	法人活動資金目標額(円)	目標額合計(円)
支 部 全 体	790,000,000	317,000,000	1,107,000,000

イ 岡崎市地区目標額

年 度	一般活動資金目標額(円)	法人活動資金目標額(円)	目標額合計(円)
令和8年	26,674,000	400,000	27,074,000
令和7年	26,865,000	400,000	27,265,000
比 較 額	-191,000	0	-191,000

※ 法人社資の募集は県支部が行う。

2 災害救護

災害救護業務は、日本赤十字社法に明示された赤十字の最も重要な業務である。

また、災害救助法において国又は都道府県知事の行う救助業務に対する協力が義務付けられさらに災害対策基本法及び大規模地震対策特別措置法においても指定公共機関として防災に関する各種計画とその実施の責任を課せられている。

(1) 救援物資の配分と弔慰金の贈呈

風水害や火災などにより被災された世帯を対象に救援物資を配布し、また不幸にして死亡された方の遺族には弔慰金を贈る。

災害救援物資配分基準表

災害区分	被害状況	品 目		弔 慰 金
		毛布(10月から5月) タオルケット(6月から9月)	緊急セット	
火 災	全 焼	1人2枚	1世帯1個	遺族に対し、 死亡者1人につき 1万円支給。
	半 焼	1人1枚		
自然災害	全壊・流出・半壊・床上浸水・避難所に避難した世帯	1人1枚		

(2) 救護装備の整備

救護資材配備3カ年計画(令和7年度～令和9年度)

令和8年度は、携帯トイレセット30個、プライベートルーム11個、蓄電池1個、

簡易ベッド25個、気化式冷風機1個の支給を愛知県支部から受ける。

令和元年度から、岡崎市社会福祉協議会が設置するボランティアセンターが迅速な対応を開始できるよう社協と必要資材、数量を調整し、上記3カ年計画により整備を進めている。

(3) 救護訓練

ア 岡崎市が実施する地域総合防災訓練に岡崎市赤十字奉仕団の参加を要請する。

イ 地域・学区での防災訓練に移動炊飯器等の貸出しを行う。

ウ 炊飯袋(ハイゼックス)による炊き出しの普及を図る。

3 血液事業

令和8年度事業計画書

人口の減少は避けられない状況にある。

しかし昨今若年層の献血離れが進んでおり、将来的に医療機関が必要とする血液製剤の供給が危ぶまれる状況が憂慮されている。

今後は若年層に対する啓発を強化し、特に医療現場において需要の高い400ml全血献血及び成分献血の一層の推進を図るため、岡崎地区献血推進協議会と連携して各種広報活動等を行い、広く市民に献血についての理解を求め協力を要請する。

(参考) 愛知県の年齢別献血状況 (令和7年度愛知県献血推進協議会資料より)

年	16～19歳				20～29歳				30～39歳			
	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率
2021	12,556	102.8%	4.3%	3.6%	45,327	90.1%	15.4%	5.4%	47,005	82.7%	15.9%	5.4%
2022	13,897	110.7%	4.7%	4.0%	46,292	102.1%	15.7%	5.5%	44,265	94.2%	15.0%	5.0%
2023	12,555	90.3%	4.2%	3.6%	43,719	94.4%	14.8%	5.2%	43,427	98.1%	14.7%	5.0%
2024	13,169	104.9%	4.5%	3.8%	43,587	99.7%	14.9%	5.2%	41,514	95.6%	14.2%	4.8%
2025	13,003	98.7%	4.5%	3.7%	42,370	97.2%	14.7%	5.0%	39,935	96.2%	13.9%	4.7%
年	40～49歳				50～59歳				60～69歳			
	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率
2021	76,592	92.2%	26.0%	6.9%	84,077	152.3%	28.5%	8.4%	29,482	160.0%	10.0%	3.7%
2022	71,042	92.8%	24.1%	6.6%	87,292	103.8%	29.6%	8.1%	32,516	110.3%	11.0%	4.0%
2023	68,558	96.5%	23.2%	6.6%	91,091	104.4%	30.8%	8.2%	36,792	113.2%	12.4%	4.8%
2024	63,128	92.1%	21.6%	6.2%	91,551	100.5%	31.3%	8.1%	39,418	107.1%	13.5%	4.8%
2025	58,748	93.1%	20.4%	6.0%	90,824	99.2%	31.6%	8.0%	42,435	107.7%	14.8%	5.1%

※ 献血率：各年の4月1日(2025年は10月1日)時点の人口を基に算出

(1) 血液確保の計画(地区目標)

地区目標

区分	200ml		400ml		成分献血		合計	
	献血者 (人)	構成比 (%)	献血者 (人)	構成比 (%)	献血者 (人)	構成比 (%)	献血者 (人)	構成比 (%)
移動採血	149	2.8	5,163	97.2	—	—	5,312	100.0
献血ルーム	139	1.1	4,821	37.7	7,840	61.2	12,800	100.0
合計	288	1.6	9,984	55.1	7,840	43.3	18,112	100.0

(2) 献血推進事業

- ア 愛の血液助け合い運動(7月)
- イ 愛知県献血運動推進大会(7月)
- ウ 複数回献血キャンペーン(7月から3月)
- エ はたちの献血キャンペーン(1月・2月)
- オ 広報資料の配布・掲示(随時)

4 救急法・健康生活支援等の講習

令和8年度事業計画書

岡崎市赤十字奉仕団の指導員から子どもに起こりやすい事故の予防及び手当、かかりやすい病気と看護の仕方などの知識と技術を学ぶ機会の提供。

5 赤十字奉仕団活動

赤十字奉仕団が日本赤十字社の活動の推進組織であることを再認識し、一層の活動充実を図るとともに、地域的広がりを視野に入れた団員の加入促進を図る。

(1) 研修会・講習会への参加

赤十字奉仕団基礎研修会（愛知県支部主催）

赤十字奉仕団員として必要な知識及び技術の習得並びに情報交換を行うことにより、指導者の養成を図る。

(2) 赤十字奉仕団団員研修

万一の災害・事故に備えて防災講習、炊き出し、AEDを使用した救急法・健康生活支援講習等を受講する。

(3) 広報宣伝活動の実施

地域のイベントへ参加し、赤十字奉仕団のPRと献血啓発活動を行う。

(4) 地域・学区での防災啓発

地域・学区での防災訓練において炊き出し訓練の指導をする。

6 災害義援金・救援金の受付

台風や地震などの自然災害発生に際し、迅速な募金活動を実施する。